

北九州工業高等専門学校		開講年度	令和04年度 (2022年度)		授業科目	文化地理学 II		
科目基礎情報								
科目番号	0129		科目区分	一般 / 選択				
授業形態			単位の種別と単位数	履修単位: 1				
開設学科	生産デザイン工学科 (知能ロボットシステムコース)		対象学年	5				
開設期	後期		週時間数	2				
教科書/教材	使用しない							
担当教員	白神 宏							
到達目標								
1. 民族、宗教、生活文化の多様性を理解し、異なる文化・社会が共存することの重要性について考察できる。 2. 照葉樹林文化と日本文化・中国文化との関係について理解し、説明できる。 3. 料理法・加工法の発展過程や伝播過程について考察し、説明できる。								
ルーブリック								
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安			
評価項目1	民族、宗教、生活文化の多様性を理解し、異なる文化・社会が共存することの重要性について深く考察できる。		民族、宗教、生活文化の多様性を理解し、異なる文化・社会が共存することの重要性についておおまかに考察できる。		民族、宗教、生活文化の多様性を理解し、異なる文化・社会が共存することの重要性について考察できない。			
評価項目2	照葉樹林文化と日本文化・中国文化との関係について理解し、十分に説明できる。		照葉樹林文化と日本文化・中国文化との関係について理解し、おおまかに説明できる。		照葉樹林文化と日本文化・中国文化との関係について理解し、説明できない。			
評価項目3	料理法・加工法の発展過程や伝播過程について考察し、十分に説明できる。		料理法・加工法の発展過程や伝播過程について考察し、おおまかに説明できる。		料理法・加工法の発展過程や伝播過程について考察し、説明できない。			
学科の到達目標項目との関係								
教育方法等								
概要	世界の諸民族は、それぞれ多様な文化を育んできた。また、文化は伝播や他文化との接触により絶えず変化してきた。国際社会の中で活躍する技術者として、多様な文化の存在を理解し尊重することは重要である。本授業では、食文化を素材として、文化の形成や伝播について理解を深めることを目的とする。							
授業の進め方・方法	プリントを配布し、スライドを見てもらいながら授業を進める。							
注意点								
授業の属性・履修上の区分								
<input type="checkbox"/> アクティブラーニング		<input type="checkbox"/> ICT 利用		<input type="checkbox"/> 遠隔授業対応		<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業		
授業計画								
後期	3rdQ	週	授業内容		週ごとの到達目標			
		1週	照葉樹林文化 (1)		照葉樹林地域の文化的特色について説明できる。			
		2週	照葉樹林文化 (2)		照葉樹林文化の諸要素について説明できる。			
		3週	照葉樹林文化 (3)		照葉樹林文化の諸要素について説明できる。			
		4週	麦文化とその伝播		麦の栽培地域の地理的特性と料理法の変遷について説明できる。			
		5週	麦の料理法～パン (1)		各地のパンの種類と地域的特性について説明できる。			
		6週	麦の料理法～パン (2)		各地のパンの種類と地域的特性について説明できる。			
		7週	麦の料理法～パン (3)		各地のパンの種類と地域的特性について説明できる。			
	8週	中間試験						
	4thQ	9週	麦の料理法～麺 (1)		麺の系列と伝播地域の過程について説明できる。			
		10週	麦の料理法～麺 (2)		世界各地の麺文化の特色について説明できる。			
		11週	麦の料理法～麺 (3)		世界各地の麺文化の特色について説明できる。			
		12週	麦の料理法～麺 (4)		世界各地の麺文化の特色について説明できる。			
		13週	世界の乳利用 (1)		世界各地のミルクの利用形態について説明できる。			
		14週	世界の乳利用 (2)		世界各地のミルクの利用形態について説明できる。			
		15週	世界の乳利用 (3)		世界各地のミルクの利用形態について説明できる。			
16週		定期試験						
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標								
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週	
基礎的能力	人文・社会科学	社会	地理歴史的分野	民族、宗教、生活文化の多様性を理解し、異なる文化・社会が共存することの重要性について考察できる。			3	
評価割合								
		試験	演習・レポート		合計			
総合評価割合		90	10		100			
基礎的能力		90	10		100			